

科目名	数値解析 I Numerical Analysis I			担当教員	近藤祐史		
学 年	4 年	学 期	前期	履修条件	選択	単位数	1
分 野	専門	授業形式	講義	科目番号	11C04_30861	単位区別	履修
学習目標	科学や工学における問題の解法として、コンピュータによる数値解析の手法が非常に有効である。この授業では、アルゴリズムの理解から実際の問題への適用にいたるまでの道筋を講述し、さらに、演習を行うことによって習得させる。本授業では、数値計算の代表的な解法を説明し、C言語によるプログラミングを通じてアルゴリズムの理解を深める。						
進め方	教科書を基に数値解法のさまざまなアルゴリズムについて講義した後、演習を行う。主に、教科書の例題をレポート課題とするが、単に計算結果を出力するのではなく計算過程やアルゴリズムによる計算速度、計算精度の違いについても考察すること。また、必要があれば小テストを行う。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 授業ガイダンス、数値解析入門(2)			計算機における数値の表現方法を学び、計算機による誤差の発生原因を理解する。 D2:2			
	2. 数値の表現形式と誤差(2)						
	(非線形方程式の解法)						
	3. 2分法とはさみうち法(2)			非線形方程式を解くとは何かを再確認し、数値解法を理解する。 D2:3			
	4. ニュートン法(2)						
	5. ベイリー法(2)						
	6. ペアストウ法(2)						
	7. 演習(2)						
	----- [前期中間試験] (2)						
	(連立線形方程式の解法)			連立線形方程式を解くとは何かを再確認し、数値解法を理解する。 D2:3			
	9. ガウスの消去法(4)						
	10. ピボット選択法(2)						
	11. ガウス・ジョルダン法(2)						
	12. LU分解法(2)						
	13. ガウス・ザイデル法(2)						
	14. 連立非線形方程式の解法(2)			非線形方程式を解くとは何かを再確認し、数値解法を理解する。 D2:1			
	前期末試験						
	15. 期末試験の返却・解説(2)						
評価方法	試験を 60%、レポート、小テスト等を 40%の比率で評価する。						
履修要件	特になし						
関連科目	基礎数学Ⅰ（1年）、情報処理Ⅱ（2年）、微分積分学（2年、3年）→ <u>数値解析Ⅰ（4年）</u> 、数値解析Ⅱ（4年）						
教 材	教科書：堀之内總一、酒井幸吉、榎園茂 著 「ANSI Cによる数値計算法入門」 森北出版						
備 考	質問等は、kondoh@di.kagawa-nct.ac.jp へメールしてください。						